和歌山県立文書館「授業で使える和歌山の資料」　**【解説シート：地券】**

日本史探究：地租改正がもたらしたことは何だろう？　（解答付）

（　　　）年　（　　　）組　（　　　　）番　名前（　　　　　　　　　　　　　　　）

資料1 改正地券（紀伊国海部郡西浜村（現和歌山市西浜））

|  |
| --- |
| (和歌山県立文書館所蔵　角谷家文書　整理番号 あ-5「地券」)  <https://www.lib.wakayama-c.ed.jp/monjyo/archive/kyouiku/chiken/index.html> |

**問1.資料1を見て、読み取ったこと、疑問に思ったことをできる限り書きましょう。**

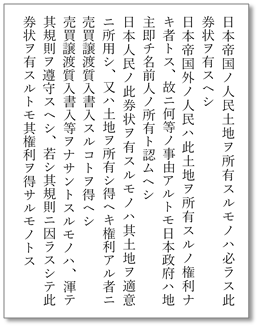
|  |  |
| --- | --- |
| 読み取ったこと  土地の所在地、面積、所有者、地価、地租が記されている。  地価を3％にした地租が記されている。明治10年よりは2.5％にした地租が記されている。  「日本帝国ノ人民」との語句が記されている。  土地の所有者が変わった際に名義を書き換える記入欄がある。等 | 疑問に思ったこと |

☆今回は、明治時代の土地制度・税制について、政府と地域の人々の両方の視点からみます。

**今回のテーマ**

|  |
| --- |
| 政府と地域の人々の両方の視点から、地租改正の特徴を考える。 |

**問2.資料2では、土地を所有する者に何が認められていますか。**資料2改正地券の裏面の翻刻

**資料2の当てはまる部分に線を引きましょう。**

**問3.解説シートや教科書等を参考に、下の表の空欄①～④に当ては**

**まる語句を答えましょう。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 江戸時代 | 明治時代 |
| 課税の基準 | 収穫高 | 1. 地租額（地価） |
| 納めるもの | 物納、諸役 | **②**金納 |
| 税の納める方式 | **③**村請制 | 土地所有者個人で納める |
| 税の納め先 | **④**幕府、大名、寺社 | 政府 |

**問4.なぜ政府は、地租改正を実施する必要があったのでしょうか。教科書等を参考に答えましょう。**

|  |
| --- |
| 江戸時代の年貢制度では、もとの藩によって税額が異なっていたり、米の作柄によって税収が変動したりするので、財政を安定させるために地租改正を実施する必要があった。 |

**問5.下の地租改正に関する記述について、空欄①～④に当てはまる語句を解説シートや教科書等を参考に答えましょう。**

|  |
| --- |
| 地租改正の実施によって、地租を豊凶に関わらず全国一律の金納で行うようになったため、政府は（①　安定　・　不安定　）的な税収を得ることができた。  和歌山県は、1875(明治8)年に「地租改正ニ付人民心得書」を布達し、和歌山県が区長・戸長らを担当者に任命し、村ごとに（②　土地を測量　　）した。当初、（③　村からの申告　）に基づいて地価を決定していたが、多くの村が再調査を命じられ、旧来の年貢収入を減らさないよう政府や和歌山県が設定した（④　低額　・　高額　）な地価を承認させられた。 |

**問6.和歌山の人々は、地租改正に対してどのような行動を起こしたのでしょうか。解説シートを参考に答えましょう。**

|  |
| --- |
| 政府や県が設定した地価が江戸時代と変わらない税の負担だったことに反発し、地租改正反対一揆を起こした。特に、1876(明治9)年の「粉河騒動」は、大規模で県が軍隊の出動を要請した。 |

**問7.政府は、問6の行動に対してどのような対応をしましたか。解説シートを参考に答えましょう。**

|  |
| --- |
| 1877(明治10)年に地租の税率を地価の3％から2.5％に引き下げた。 |

**問8.なぜ人々は、政府に対して言論ではなく一揆による抗議をしたのでしょうか。**

**あなたの予想を記してください。**

|  |
| --- |
| 例  当時は、国会や地方議会といった政治の場に人々の意見を反映させる場が存在しなかったことや、自由民権運動が盛り上がる直前だったことが要因と考えられる。 |

**今回の問い：地租改正は、政府と地域の人々それぞれに何をもたらしたのでしょうか。**

|  |  |
| --- | --- |
| 政府  安定的な税収を得て、中央集権的な国家体制を整えることができた。 | 地域の人々  江戸時代までの税負担とほとんど変わらない状態だった。  地租改正に反発する一揆をうんだ。 |

**今回の学びを踏まえて、あなたは地租改正をどの程度評価しますか。**

|  |
| --- |
|  |